

事務事業名	リニア建設促進山梨県期成同盟会参画事業		所属部局	総合政策部	単位番号	2038			
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	交通政策室	課長名	高野 晃史			
			所属担当		担当者名				
基本政策	基本計画	Ⅲ うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項目 01 07	細目 020	細々目 09
政策	計画	16 公共交通の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金					
施策	体系	26 公共交通ネットワークの充実							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H15 年度) ~ (年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 超伝導リニアより東京一大阪間を結ぶ中央新幹線の早期実現を図るとともに、完成を促進するため、県・市町村・各種団体により構成された同盟会に参加する。 同盟会の事業 ①国会・政府等への請願・陳情 ②関係団体等への協力要請 ③県民への啓発活動 ④情報収集活動			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 法令外負担金 計 0					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 総会、説明会への参加、負担金の納入、地域説明会への参加、地域要望の聞き取り、JR東海への要望伝達 27年度活動予定 地域説明会の開催支援及び地域要望の聴取、県JRと住民意見の調整
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	同盟会会員、市民、自然
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	同盟会に参画することで、リニア中央新幹線に係わる陳情や情報の共有・収集が可能となる。市民の意見をJRや国に述べることが容易になる。住民意見の把握。自然保護。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	リニア新駅を含めた交通手段の整備と、交通環境のグランドデザインを本市のまちづくりの一環として活用し、国・県と連携して本市にとって望ましい交通体系の導入を図っていくことができる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 会議数 回 イ 同盟会負担金 千円 ウ
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 同盟会会員数 団体 イ 市民 ウ 自然
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 同盟会関係事業への参加回数 回 イ ウ
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア バスなどの交通機関の便利さに関する市民の満足度 % イ

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	125	118	108	108	108	
	事業費計(A)	千円	125	118	108	108	108	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	14	14	14	14	14		
	人件費計(B)	千円	64	64	64	64	64	0	0
	(A)+(B)	千円	189	182	172	172	172	0	0
活動指標	ア	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	イ	千円	124.3	117.1	117.1	117.1	117.1		
	ウ								
対象指標	ア	団体	211.0	211.0	211.0	211.0	211.0		
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	回	3.0	2.0					
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	22.7	13.1					
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	協議会は昭和55年に超伝導リニアによる中央新幹線の早期実現と県内への停車駅設置を目的に設立され、県内市町村が賛同し加入している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成23年5月に事業主体にJR東海が正式決定、6月にはルート及び新駅建設予定地域(甲府盆地南部)が発表された。本市においては高架型路線の建設が予定されている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	H25年秋に詳細なルートが公表されたことにより、新たなまちづくりやリニア中央新幹線を活用した地域活性化など、より具体的な情報が求められている。反対者の意見が多数あることは否めない。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	これまでは総会・説明会への参加・負担金の納入であったが、リニア中央新幹線の路線が示されたことで、市民からの意見要望も増加している。今後も国やJR東海の動向を注視し、速やかに住民へ提供できる体制が必要となる。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	期成同盟会への参画事業は定期総会への参加が主であった。情報収集のためにも現状を維持する。

事務事業名	リニア建設促進山梨県期成同盟会参画事業	所属部	総合政策部	所属課	交通政策室
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 甲府への新駅建設及び市内への路線引き込みが決まったことから、今後は本市の新たなまちづくりや、交通体系の導入を図ることが出来るため。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 事業主体はJR東海に決定したが、リニア新幹線の整備は将来のまちづくりに影響するため、国・県・市町村が連携し一体となって取り組む必要がある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 リニア中央新幹線建設の動きが具体化してきたので、県や近隣自治体と連携した新たなまちづくりに向けて、同盟会への参画は必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 会員として同盟会活動に参画しており、成果向上への寄与は少ない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 リニア中央新幹線の整備促進は本市にとっても多大な影響があり、同盟会の脱退は正確で迅速な情報収集が困難に リニア中央新幹線の整備促進は本市のまちづくりにとっても重要事項となり、関連施策への影響が大きいことから、休止・廃止は不可能である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 同盟会参画の負担金であり、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 総会等への参加による情報収集が主な事業のため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 リニア中央新幹線の事業効果は全市に及ぶため公平公正といえる。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	リニア中央新幹線の整備は県及び県内自治体をあげて推進しており、情報収集及び情報の共有の観点から見直しの余地はない。今後住民からの意見や要望が噴出してくると予想される。市政策との整合性を図りながら、的確に進めていかなければならない。
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 市民要望と市の政策との整合性を如何に図っていくか検討の余地がある。市民目録での対応が必要となる。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 市民目録での対応と、JRからどのような回答が得られるかに係る	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					